

平成29年3月12日
スタート

改正道路交通法が施行されます

リスクの高い運転者への対策

高齢運転者 対策の推進

1. 新設 臨時認知機能検査・ 臨時高齢者講習

● 臨時認知機能検査

改正前は3年に1度の免許証の更新のとき
だけ受けることとされていた認知機能検査につ
いて、一定の違反行為があれば、3年を待たず
に、受けることになります。

ポイント
1

75歳以上の運転者が、認知機能が低下した
ときに起こしやすい違反行為をしたときは、
新設された「臨時認知機能検査」を受けな
ければなりません。

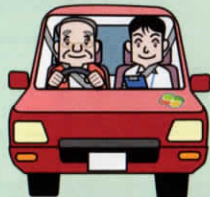


【一定の違反行為の例】

- ・信号無視
- ・通行区分違反
- ・一時不停止 等

● 臨時高齢者講習

臨時認知機能検査を受け、認知機能の低下
が運転に影響するおそれがあると判断され
た高齢者は、新設さ
れた「臨時高齢者講
習」(個別指導と実車
指導)を受けなければ
なりません。



一定の違反行為をしたとき

75歳以上

新設

臨時認知機能検査

ポイント
1

認知症のおそれ

ポイント
2

等

認知機能検査の結果が
悪くなっている場合

新設

臨時 高齢者講習

- ・実車指導(1時間)
 - ・個別指導(1時間)
- 計2時間

臨時適性検査
又は
診断書提出命令

運転免許証を更新するとき

75歳以上

更新時の認知機能検査

認知症のおそれ

ポイント
2

認知機能の低下のおそれ

認知機能の低下のおそれなし

75歳未満

高齢者講習 (高度化)

- ・実車指導
 - ・個別指導 など
- 計3時間

高齢者講習 (合理化)

- ・実車指導 など
- 計2時間

2. 臨時適性検査制度の 見直し

改正前と異なり、認知機能検査で認知症の
おそれがあると判定された方は、違反の有無を
問わず、医師の診断を受けることになります。

ポイント
2

更新時の認知機能検査又は臨時認知機能検
査で認知症のおそれがあると判定された方
は、臨時適性検査(医師の診断)を受け、又
は、命令に従い主治医
等の診断書を提出しな
ければなりません。

※医師の診断の結果、認知
症と判断された場合は運
転免許の取消し等の対象
となります。



3. 高齢者講習の 合理化・高度化

認知機能検査の結果によって受ける講習の
内容等が変わります。高齢者講習は、75歳
未満の方や、認知機能検査で認知機能の低
下のおそれがないと判定された方に対して
は2時間に合理化(短縮)されます。その他
の方に対しては、個別指導を含む3時間の講習
となります。

